

# 長崎の起源は岬の六町だった!!



南蛮人來朝之図 (長崎歴史文化博物館収蔵)

しつもんまんぼう  
七珍万宝をのせた南蛮船が  
やって来たことで、その後  
の長崎や日本の未来を大きく  
変えることになるのです。



山口 広助さん

丸山町の料亭青柳の若旦那で、歴史民俗研究家としても活動。長崎開港450周年記念事業のPRにもご協力いただいています。

長崎港は、日本に数ある港の中でも450年という古い歴史を誇ります。そんな長崎港の歴史をたどってみましょう!

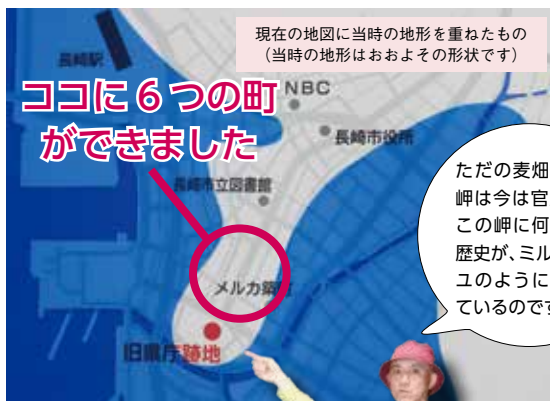
岬は岩石で丈夫だし、海も深くて大きな船も入れるから、日本の拠点をここにしよう!



## 長崎開港と町建て

戦国時代、キリスト教の布教のためイエズス会は彼らのポルトガル船が安全に停泊できる港を探していました。長崎港は周りを山に囲まれていて、波が静かだと分かり、ここを治めていた領主の大村純忠に許しを得て、1571年にポルトガル船が初めて入港しました。

長崎港が開港されると、各地から貿易商人やキリシタンが移住し、現在の万才町付近に6つの町(島原町、大村町、平戸町、横瀬浦町、外浦町、文知町)がつけられました。



現在の地図に当時の地形を重ねたもの(当時の地形はおおよその形状です)

ココに6つの町ができました

ただの麦畑が続く岬は今は官庁街! この岬に何層もの歴史が、ミルフィーユのように重なっているのです。

今も当時に近い岬の形が

※形状はイメージ



寛文長崎図屏風 (長崎歴史文化博物館収蔵)



長崎人はハイカラさん! ヨーロッパの最新の流行をいち早く取り入れ、和華蘭文化が開花します。

## 出島と鎖国

幕府は海外貿易を統制するため1636年に出島を造りました。オランダ商館が1641年に平戸から出島に移されると、ここが西洋との唯一の窓口になりました。オランダ船は、ヨーロッパの商品(毛織物、ガラス製品など)やアジア各地の商品(生糸や砂糖など)を積んできました。



## 海軍伝習



蒸気船はすごい～  
列強に負けてられん！  
国を強くするのじゃ！

1853年、アメリカの使節ペリーが蒸気船でやってきて日本に開国をせまると、江戸幕府も海軍が必要だと考え、1855年に日本初の蒸気船の航海訓練が始まりました。これを海軍伝習と呼びます。

その後、軍艦を修理する工場が必要となり、長崎製鉄所が建設され、長崎での造船が始まるきっかけになりました。



長崎海軍伝習所絵図（公益財団法人鍋島報效会所蔵）

## 居留地



幕末の第2の開港は、近代化を進め、大陸への窓口長崎が誕生しました。今の国際交流の起源ともいえる時期でもあるんです！

1859年、条約に基づき開港しました。その後「居留地」と呼ばれる外国人専用居住区が大浦川の付近などにつくられました。

幕府は、外国の商人や宣教師などに土地を貸し、自治権を認めました。大浦や東山手、南山手などの7地区からなる居留地には、独特な洋風の建物群が現れ、国際貿易と文化交流の新時代が始まりました。



長崎港写真 明治初期（長崎歴史文化博物館収蔵）

上海航路の運賃は18円！（当時の金額。3等）26時間であつという間に行けるんだよ。

## 近代化する長崎港



明治時代になると、長崎港を近代化する必要が出てきました。海を次々埋め立て新しい町や道路をつくり、港の様子は変わってしまいました。

1924年には大型の船が着けられるようになり、大型船の航行が盛んになりました。この航路には長崎と上海を結ぶ「長崎丸」「上海丸」が就航し、多くの人や貨物を運びました。



日華聯絡開航記念絵葉書（長崎歴史文化博物館収蔵）

長崎の歴史は港の歴史。港の風は長崎の風です。魅力的でエキゾチック、ときに冒険的でロマンチック。それはいつも、未来に向いていたはず。港は語り続けています。開港500年の未来は、きっと瓊のように光り輝くNagasakiがあります！

## 今の長崎

戦争からの復興に向けて、まちづくりが急激に進み、港のまわりには造船所や倉庫などが立ち並び、まちは大きくなりました。しかし、市民と港のつながりが薄れてしまいました。そこで、「アーバンルネッサンス2001構想」を計画して「水辺の森公園」「出島ワーフ」などがつくられ、市民や観光客が気軽に立ち寄れるようになり、水辺や港は人々で賑わう空間になりました。



倉庫が並ぶ昔の長崎港



出島ワーフが整備され市民などの憩いの場に

